



～平和への願い、受け継がれて50年～

「アンネのバラ」を一般公開します



「アンネのバラ」と呼ばれ親しまれるバラが、杉並区高井戸中学校（高井戸東1-28-1）で、見ごろを迎えています。生徒や教職員だけでなく、保護者や地域の方からも大切に守り育てられているバラは、本年6月、高井戸中学校に植えられてから50年となります。このバラを5月5日（火）からの4日間、一般の方に公開します。美しいバラに触れながら、アンネが願った平和に思いをはせてみませんか。

◆「アンネのバラ」の由来

「アンネのバラ」は、第2次世界大戦中にホロコーストの犠牲となった少女、アンネ・フランクに由来します。アンネはユダヤ人迫害から逃れるために移住したオランダの隠れ家で、裏庭に咲くバラを屋根裏部屋から眺めていました。終戦後、ベルギーの園芸家がアンネをしのいで品種改良を行い、「アンネ・フランク」と名付け、アンネの父・オットー氏に寄贈しました。

◆高井戸中に植えられた経緯

昭和50（1975）年、国語の授業で「アンネの日記」を読み、感銘を受けた当時の中学2年生が、アンネへの手紙を文集にし、オットー氏に送付し、交流が開始。交流の中で、オットー氏により大事に育てられていたバラの存在を知った生徒たちが「平和のシンボルとして校庭に植えたい」と申し出たことから、バラ3株が贈られることになり、昭和51（1976）年に高井戸中学校にやってきました。

◆地域で平和への願いを受け継ぐ

寄贈以降、バラは大切に育てられ、現在では200株以上が咲き誇るように。生徒たちによる「アンネのバラ委員会」も発足し、生徒や教員のほか保護者や地域の人たちも巻き込み、アンネの願った平和への思いを後世に伝える活動を行っています。

【高井戸中学校の隅田登志意校長のコメント】

50周年の節目を機に、国際協調や国際平和を実現しようとするグローバル人材の育成につながる教育活動を一層活発にするとともに、今後も平和への思いが受け継がれていくことを願っています。世界情勢が不安定である今、アンネのバラを通じて、アンネの生きた時代について考え、改めて平和の尊さに向き合う機会になることを期待しています。

「アンネのバラ」一般公開日時

■日時：5月5日（火）～6日（水）…午前9時～午後3時

5月7日（木）～8日（金）…午前9時～正午

■場所：区立高井戸中学校（高井戸東1-28-1）

■費用：無料。直接会場へお越しください

【報道機関 問い合わせ先】

高井戸中学校 03-3302-1762

広報課報道係 03-3312-2111 内線：1574